

## 緊急人道支援学会 ラウンドテーブルセッション フォーマット：

### 人道支援アクターの高リスク地域への渡航とさらなる質の高い安全管理に向けて ～効果的な支援実施に向け必要な働きかけとは～

- 要旨(400-800字:企画の背景、主な論点を含めてください。Should include background and main discussion points. 200-300 words.)

緊急人道支援の現場で活動する組織そして職員の危機管理・安全管理は、安全配慮義務(デューティー・オブ・ケア)とも相まって、活動の根幹に関わる最も重要なテーマの一つである。国際人道支援アクターは、各々の目指すミッションやマニフェストに従い現地で事業を展開するために、職員および事業関係者の安全を確保しつつ、必要な安全管理体制を構築して支援を実施し組織のキャパシティを向上させてきた。

人道危機発生地域は、一般に紛争や政治的混乱等により危険度が高く、これら地域への渡航・駐在に伴うリスクの許容度はアクター毎に異なり、それぞれの尺度で判断されるべきものである。しかし、特に日本において公的資金を活用する場合、これら高リスク地域への渡航・駐在は、例え支援アクターとして経験・実績を有していても、依然として社会の理解を得づらいのが実情である。

本ラウンドテーブルでは、高リスク地域への渡航および安全管理について、民間組織、公的機関、国際機関等、異なる背景を持ちながら国際協力の現場で活動するアクターが、さらなる質の高い安全管理実施を目指して、それぞれを取り巻く現状と課題を共有する。そして、緊急人道支援を効果的に実施するために、プロフェッショナルとして活動が必要とされる中、本テーマに関して今後どのような働きかけが必要となっていくのか、フロアの議論を喚起する。

- 発表者の発表内容・略歴、およびファシリテーター、コメンテーターの略歴(Planning Manager, Chair/Moderator, and Presenters and Discussants, if applicable)

折居徳正(座長): 2002年よりNGO職員としてアフガニスタン、パレスチナ、ヨルダン、ミャンマー等での人道・難民支援、またイラン、パキスタン、インドネシア、フィリピン、ハイチ等での自然災害の支援に従事。2016年以降は補完的パスウェイズによる日本への難民受け入れに従事。2016年にNGO安全管理イニシアティブ(JaNISS)の立ち上げに関わり、以後コーディネーターとしてNGO安全基準の運用、UNHCR eCentre や日本体育大学救急医療学科等と協力した安全対策研修、「NGO・NPOの戦略的あり方を検討する会」議員グループと連携したアドボカシー活動等を実施。

福原真澄(発表者): 2009年よりNGO職員としてヨルダン、パレスチナ西岸地区にて人道、開発支援に従事。2016年に公益社団法人セーブ・ザ・チルドレンに入局し東京事務所にてシリア難民支援、モンゴル雪害支援等の緊急人道支援を担当し、2020年より緊急人道支援マネージャーを務める。2022年よりアジア・中東地域マネージャー。2021年以降JaNISS世話人を務め、2025年より世話人代表。

福井美穂(発表者): 認定NPO法人ピースウィンズ・ジャパン・アフリカ地域マネージャー。1998年よりバルカン半島、アフガニスタン、シエラレオネ、南スーダンにて国際NGO職員として人道支援活動に従事。政府機関、大学職員を経て、2018年より現職、南スーダン、ウガンダ、ケニア、モザンビーク北部の支援活動を統括し、ウクライナ、モロッコ、パキスタンなど紛争起因および自然災害被災地人道支援にも従事。青山学院大学大学院兼任講師、東洋英和女学院大学大学院非常勤講師。2025年よりJaNISS世話人。

川嶋淳司(発表者): 国際協力機構(JICA)安全管理部安全対策第一課長(中東、欧州、東・東南アジア、中央アジア・コーカサス、北中南米を担当)。在イエメン日本大使館やJICAパレスチナ事

務所で在外勤務。最近の業績に『イエメンを知るための 63 章』(分担執筆、明石書店、2025 年)、『日本の国際協力 中東アフリカ編』(分担執筆、ミネルヴァ書房、2021 年)、『平和学から世界を見る』(分担執筆、成文堂、2020 年)。

渡邊温子(発表者):大阪外国語大学(現大阪大学)卒業後、教員として勤務。コスタリカの国連平和大学で修士号(平和学)を取得後、2010 年に国際連合児童基金(UNICEF)ウガンダ事務所に UN ボランティア教育担当官として勤務。NGO、在外公館においてプロジェクトマネジメントやプロジェクトアセスメント関連の海外勤務経験を積んだ後、2013 年より UNHCR でジュニアプロフェッショナルオフィサー(JPO)、准プログラム担当官として南スーダンに勤務し、緊急人道援助に携わる。その後、ネパール、パキスタンにプログラム担当官として勤務し、2020 年より現職。

#### ■ セッションの流れ(Plan of the Session)

前半 50 分(14 時 45 分～15 時 35 分)で、発表者の JaNISS 世話人福原、福井より JaNISS の概要、政府資金での高リスク地域渡航において加盟 NGO が直面する課題、今後に向けた提言などについて発表する。JICA 川嶋からは、NEXUS の観点も踏まえた JICA の国際協力に関連する取り組み、安全管理体制および高リスク地域渡航に関連して直面する課題などについて発表する。UNHCR 渡邊からは、UNHCR が講じる安全管理体制、安全管理における NGO との連携事例、NGO への期待などを発表する。

後半 40 分(15 時 35 分～16 時 15 分)で、座長の折居氏のファシリテートのもと、前半の発表内容に関する質疑応答を行うほか、前半の内容を踏まえた上で、緊急人道支援を効果的に実施するために、高リスク地域への渡航・安全管理という観点から、支援アクターとして今後どのような働きかけが必要となっていくのか、参加者と意見交換を行う。

#### ■ その他

特に無し。

(2ページ以内に収めてください。Please keep it within 2 pages)